

Hop Step JUMP!

高岡市立国吉中学校
第3学年 学年だより
令和元年11月1日



No.8

食べること 生きること

校長 寺田 恵

本校のホームページでは、「今日の給食紹介」と題して毎日の給食を味や食感などコメントを添えて写真で紹介しています。それは、学校で食べるということが教育上どれほど大切なことかを、長年教員をしている私たち自身がひしひしと感じているからです。

先日たまたま読んだ毎日新聞の『余録』に、脚本家の向田邦子さんのエッセーのことが書かれていました。向田さんが小学生だった頃の戦前の「弁当の時間」についてです。ここに記事を引用します。「『おなかが痛い』『忘れた』と言って教室を出て行く同級生がいた。砂場で遊んだり、ボールを蹴ったりしていた。周りの子も先生も、自分の弁当を分けてあげようとはしない。『薄情なようだが、今にして思えば、やはり正しかったような気がする』。自分に置き換えれば、人に同情されて肩身が狭い気持ちになるよりはいいのだと、向田さんには思えた。そんな経験もあったからか、彼女のドラマやエッセーには食の風景が多い。今も昔も、子供の頃の弁当には、どこか切なさがつきまとう。」この記事は、学校に勤め、子供たちの学校での食の風景に毎日接している私の胸を打ちました。

やや時代が下って戦後まもなくの頃。今、NHKで放映されている朝の連続テレビ小説「スカーレット」は、焼き物の町滋賀県の信楽で活躍する女性陶芸家を主人公に描いています。実は、信楽は私が中学校まで過ごしたふるさとで、私は毎日録画して、夜楽しみに観ています。この中にも、食の風景が多くでてきます。主人公喜美子の幼少時代、妹を連れ紙芝居を見に行っただけのお金がないことをガキ大将にからかわれ意地を張り「ポン煎餅」を諦めた場面、お金が払えず給食を止められそうになることを悲嘆する場面など。私が生まれる20年ほど前のふるさとなのですが、こういった場面を見るにつけ、私は土曜日（当時は半日は登校していました）に母が作ってくれた弁当のことを思い出します。母は共働きで忙しく、朝チャッチャッとつくった弁当。友達に見せるにはどこか恥ずかしい弁当箱と品数が少ないおかず・・・。母は、今、痴呆症となり言葉も通じず、今でこそ感謝の気持ちしかないのですが。

校長室の椅子に座ると、真正面に「涵養徳性」の扁額が毎日目に入ってきます。これは、教育の大命題だと思いますが、私にはこの「涵養」という言葉の中に食事（作り手側の心も含む）の栄養がじわじわと体にしみこんでいく様も含まれているような気がします。徳性の涵養に、食は大切です。

11月の行事予定

- 3日（日） 文化の日
- 4日（月） 振替休日
- 5日（火） 中教研学力調査（英、理、国）
- 6日（水） 〃（社、数）
- 12日（火） 学校訪問研修会（給食後放課）
- 13日（水） 実力テスト（社、国、理）
- 14日（木） 〃（英、数）

- 15日（金） 授業参観
- 22日（金） 高校入試説明会
- 23日（土） 勤労感謝の日
- 25日（月） 期末考査範囲発表
ノーマディア週間（～12/3）
相談週間（～12/3）



学習発表会

10月20日（日）



学年合唱

「プレゼント」
指揮 林 颯太
伴奏 中島緋那

「結」
指揮 平野鷺里
伴奏 西岡優那



生徒会イベント



ポスターセッション



全校合唱



閉会式

中学校生活最後の学習発表会で、一番心に残っていることは合唱です。2学期からみんなで練習して創りあげた成果が出てとても嬉しかったです。係の仕事では、予行で失敗したところを修正してすることができました。

初めての小中合同の学習発表会でした。小学生、中学生がお互いに頑張っている姿を直接見て、小学生の中には「こんな中学生になりたい」「早く中学生になりたい」と言っていた児童もいました。そうしてもらえそうな学習発表会になったことが嬉しかったです。

生徒会イベントでは最初、参加者がとても少なく困っていましたが、PTAの方や小学生や先生方、卒業生まで参加していただき、地域との強いつながりが感じられました。今年の学習発表会は、最高でした。

一番心に残ったことは合唱です。最初は全然息が合っていないで上手いかなかったけれど、最後は大きな声で、きれいに歌えてよかったです。学年展示の係では、配置や向きを工夫して、一生懸命仕事ことができました。